

メディア・アンビシャス 2011 年度活動報告 (2011 年 2 月 1 日～2012 年 1 月 31 日)

1. メーリングリストによる情報交換

番組情報、推薦新聞記事、メディア・アンビシャス活動情報、メディア関連イベント告知などを中心に 203 通の投稿がありました。

2. 大賞表彰式

前年度に選定された受賞者を招いて表彰式を開催しました。

2011 年 2 月 7 日 (月) 19:00～ シアターキノにて

大賞受賞作『あるダムの履歴書』鑑賞、表彰式、ミニシンポジウム「メディアの今」
パネラー／山口二郎 (北大大学院教授)、各賞受賞者 参加者：約 40 名

3. 定例会の開催

会員のみを対象にテレビ番組上映や新聞記事閲覧とその合評などを以下のとおり開催しました。毎月 1 回を基本として、原則第 3 火曜日に行いました。

・ 3 月 15 日 (火) 19:00～ 例会 ATTIC にて

○ベトナム戦争の傷 NHK ETV 特集「枯葉剤の傷痕を見つめて」鑑賞
毎日新聞記事「北ベトナム 大森実氏の病院爆撃報道 45 年癒えぬ傷」
ファシリテーター／萩本和之 (大学教員、メディア・アンビシャス世話人)

・ 4 月 19 日 (火) 19:00～ 例会 ATTIC にて

○コミュニティ FM の底ヂカラ
「私が罪を犯す理由」(琉球放送)鑑賞
ゲスト／木原くみこ (三角山放送局、メディア・アンビシャス会員)
ファシリテーター／加藤知美 (メディア・アンビシャス世話人・事務局)

・ 5 月 17 日 (火) 19:00～ 例会 ATTIC にて

○『天国にいる息子へ 画家・奥井理 父と母の 14 年』 上映とトーク
NHK 札幌放送局「天国にいる息子へ 画家・奥井理 父と母の 14 年」鑑賞
ゲスト／奥井則行・登代 (奥井理くんの母)
佐藤努ディレクター兼カメラマン
ファシリテーター／樽見弘紀 (北海学園大学教授、メディア・アンビシャス世話人)

・ 6 月 21 日 (火) 19:00～ 例会 ATTIC にて

○フクシマ原発報道一研究者からの目、海外からの目」
ゲスト／大友詔雄 ((株)NERC (自然エネルギー研究センター) 代表取締役、元・
北海道大学大学院工学研究科・工学部助教)
玄武岩 (北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院・准教授、
メディア・アンビシャス世話人)

- ファシリテーター／萩本和之（元新聞記者・大学非常勤講師、メディア・アンビシャス世話人）
- ・7月19日（火）19：00～ 例会 ATTICにて
 - 『石炭奇想曲 夕張、東京、そしてベトナム』（UHB）上映とトーク
 - ゲスト／後藤一也 ディレクター
澤田直也（ゆうばり映画祭ディレクター）
 - ファシリテーター／中島岳志（北大大学院准教授、メディア・アンビシャス世話人）
 - ・8月23日（火）19：00～ 例会 ATTICにて
 - NNNドキュメント 3.11大震災シリーズ6『原発爆発 安全神話はなぜ崩れたか』上映とトーク
 - ゲスト／本田宏（北海学園大学法学部教員）
 - 司会／萩本和之（メディア・アンビシャス世話人）
 - ・9月20日（火）19：00～ 例会 ATTICにて
 - 北海道を探しに行こう！～季刊誌「カイ」の仕事～
 - ゲスト／伊田行孝（株式会社ノーザンクロス取締役）
露口啓二（写真家）
 - 司会／新目七恵（ライター）
 - ・10月18日（火）19：00～ 例会 ATTICにて
 - 『嵐の気仙沼～宮城、港町の特別な一日～』（NHK仙台2009）『がれきを踏みしめて～気仙沼 港町の絆～』（NHK仙台2011） 上映と意見交換
 - ・11月15日（火）19：00～ 例会 ATTICにて
 - 『大震災100日、揺れる日本』（韓国KBS制作） 上映とトーク
 - ゲスト／林健嗣さん（STVメディアプロデューサー、メディア・アンビシャス会員）

4. 大賞選定

会員が新聞やTVなど、今年一年の中でそれぞれにウォッチングしてよかったものを順次メーリングリストに投稿して、活字部門40本、映像部門13本の候補があがりました。活字部門は12月2日に会員有志による予選会で候補作を絞り込み、12月12日にメディア・アンビシャスホームページで閲覧できるようにしました。映像部門は12月6日、9日、13日に候補作上映会を実施しました。

○大賞候補選考会 12月20日（火）19:00～ ATTICにて

<大賞候補作>

活字部門：・プロメテウスの罠（朝日）

・ウィキリークス公電報道（朝日）

・これからのエネルギー（道新）

・黒松内低地活断層／保安院が活断層再評価へ（道新）

・岐路 大間はいま (道新)

映像部門：・シリーズ日米安保② 沖縄—平和の代償 (NHK)

・ネットワークでつくる放射能汚染地図 (NHK)

・届かない最期の声 死因究明の闇 (STV)

○大賞選考会 2012年1月15日(日) 13:00～ 札幌市中央区民センターにて

映像部門では3作品を上映、活字部門では会員が「推薦の弁」を発表のうえ、両部門で投票をおこないました。メールによる事前投票を含めて各部門の賞を決定しました。

2011年度 メディア・アンビシャス大賞受賞者

【活字部門】

▽メディア・アンビシャス大賞：「岐路 大間はいま」(北海道新聞)

渡辺創・内本智子(北海道新聞社函館支社報道部)

▽メディア賞：「プロメテウスの罫」(朝日新聞)

依光隆明(取材班代表・朝日新聞特別報道部長)

▽アンビシャス賞：ウィキリークスの一連の報道(朝日新聞)

梅原季哉(取材チーム代表・朝日新聞東京本社国際報道グループ次長(当時))

▽入選：「これからのエネルギー 北大大学院教授吉田文和さん」(北海道新聞)

加藤雅規(北海道新聞編集局)

【映像部門】

▽メディア・アンビシャス大賞：「ネットワークでつくる放射能汚染地図」(NHK)

NHK文化福祉番組E TV特集班

▽メディア賞：「シリーズ日米安保 50年第2回 沖縄“平和”の代償」(NHK)

宮本英樹・岩崎努(日本放送協会沖縄放送局)

▽アンビシャス賞：「届かない最期の声 死因究明の闇」(STV)

横内郁磨(札幌テレビ報道部)

○表彰式 2012年2月7日(火) 18:30～ シアターキノにて

大賞受賞作「ネットワークでつくる放射能汚染地図」(NHK) 上映

表彰状授与

受賞者トーク「原発報道に携わって — 大賞受賞者が語る」

5. その他

会員の交流を深めるため、例会後に、ATTICに食べ物・飲み物を持ち込んで懇親会を行うなどしました。